

令和5年度

令和6年2月29日

学校だより



かもいの(な)(か)(ま) 一人じゃないよ！
夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ！
横浜市立鴨居小学校

主体的な取組は笑顔を生む

校長 堤 達俊

半袖でも暑いような日があったかと思うと、冷たい強い風が吹き抜ける日もある。そんな季節の変わり目を迎えています。今年度も最後のまとめの時期を迎えました。

本校では、「主体的に取り組むことを通して、学ぶ楽しさを実感できる子どもの育成」を目指して教育活動を行ってきました。主体的に取り組むためには、子どもたちの思いや願いを生かす場が必要です。各教科や総合的な学習の時間などで、子どもたちが自己選択・自己決定をする場を積極的に設けました。例えば、クラスの枠を外した目的別グループを作って学んだり、タブレット端末を使って自己表現ができる場を増やしたりしました。図工や音楽などでも、自分が表現したい材を使ったり、自分が演奏したい曲を友達と相談しながら決めたりしています。そんな子どもたちにはニコニコがたくさん。達成感や充実感を得られているのでしょう。

また、保護者・地域の皆さんの「地域の宝＝子ども」を大切にする心には、いつも頭が下がる思いです。それも、「子どものために」「子どもが好きだから」という強い思いから主体的に動いていらっしゃるように思います。その証拠に、鴨居のまちの大人には笑顔が常にはじけています。

子どもを支える教職員も状況を見て協力し合ったり、声を掛け合って進んで組織的に子どもに支援を行ったりする姿が日常的に見られています。授業の様子をご覧になった学校運営協議会の皆様からも、「教職員の仲が良く、コミュニケーションがよく取れている」との評価もいただきました。自らの意思で行動することによって、教職員も「働く楽しさ」を実感しているよう思います。

かわいい子どもたちと温かい鴨居の保護者・まちの方々、そして熱心な教職員に囲まれて、充実した一年間となりました。本当にありがとうございました。来年度は、創立150周年。子どもたちが、鴨居の「まち」にこれまで以上に主体的に関わり、その魅力を学ぶことで、より楽しく過ごせることを願っています。

【鴨居の自然 ～メジロの舌～】

北門階段の途中に、ピンク色のウメの花が咲いています。創立140周年記念でいただいたウメです。そこにメジロが盛んにやってきます。メジロの舌の先は、筆のように枝に分かれています。そのふさふさした舌で、蜜を吸うのではなく舐めるのです。その仕草をぜひ見てみてください。

